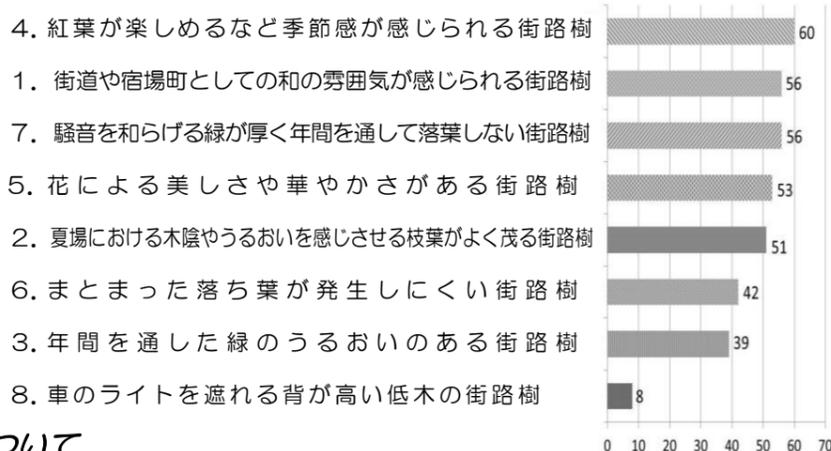


沿道居住者の方々へアンケートを実施しました。

第1回ワークショップでの街路樹についての検討をもとに、沿道居住者の方々を対象に次の通り、アンケートを実施しました。ご協力頂きありがとうございました。

●アンケート実施概要

対象者	沿道居住者の方々
実施時期	平成25年10月
配布回収方法	事務局による配布、ハガキ・FAX・E-mailによる回収
回収率	19.1% (回収 / 配布 = 151票 / 792票)



●今後の街路樹選定の方向性について

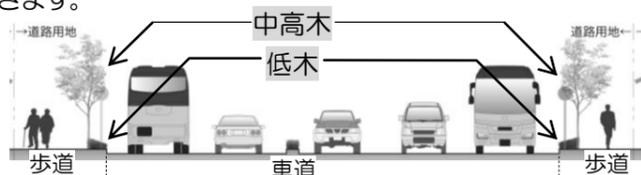
ワークショップでの意見及び住民アンケートを踏まえて、今後の街路樹選定の方向性を次に示します。

1) 中高木 (歩車道境界)

- ・紅葉し和の雰囲気を持ち、夏の緑陰を形成するとともに、まとまった落葉をしない樹種 (例えば、トウカエデ、ナンキンハゼ、ハクモクレン) を選定していきます。

2) 低木 (歩車道境界等)

- ・和の雰囲気や沿道への潤いを重視した街路樹 (例えば、ベニバナシャリンバイ、オカメザサ、マメツゲ) を選定していきます。



保土ヶ谷宿「ほっと」なお話 (その5) 「横浜旧東海道みどころ巡り」

横浜旧東海道を舞台に平成25年11月16日(土)に「横浜旧東海道みどころ巡り」が開催されました。当日は様々なイベントが催され、ガイドボランティア等の方々のご協力も得ながら、保土ヶ谷宿を多くの方が散策しました。

当日は全体で1,602名の参加者が訪れ、多くの方に保土ヶ谷宿の見所や魅力を味わってもらうことのできた1日となりました。



ボランティアガイドによる案内

今年度検討内容と今後のスケジュール (予定)

	H25年度	H26年度以降
整備計画策定 (市民参加等による検討)	<ul style="list-style-type: none"> ・街路樹の検討 ・歩行者案内板の検討 ・歴史解説板の検討 ・道路の維持管理方法の検討 等 	
道路設計		

※上記スケジュールはあくまで予定であり、決定したものではありません。

発行：横浜市道路局建設課 担当：周治、松本、雨宮
 問合せ先：(電話番号) 045-671-3542 (FAX) 045-663-8993
 ホームページ：道路局建設課 (一般国道1号(保土ヶ谷橋工区))
<http://www.city.yokohama.lg.jp/doro/kensetsu/r1/hodogayabashi/>
 編集協力：横浜市都市整備局都市デザイン室、保土ヶ谷区区政推進課

歩行者案内サイン等について議論をしました!

◆道路拡幅整備に合わせた新しい歩行者案内サインのイメージについて◆

前号の配布(平成25年9月)以降、2度のワークショップを開催し、歩行者案内サインの配置やデザインについて議論しました(第3回と第4回の意見概要は裏面参照)。また、議論の中で、活動を連想させるロゴマークについて意見が出され、複数案から参加者で投票を行い決定しました(本頁右上参照)。今後、みちづくり活動の際に活用して頂ければと考えております。

また、沿道居住者の方々を対象に実施した街路樹についてのアンケート結果も合わせてご報告いたします(実施概要及び今後の街路樹選定の方向性は4頁参照)。

次回、ワークショップでは、今後の市民参加や整備計画(案)について検討したいと考えております。

◆ワークショップの様子と今後の予定

6月21日(金) 第1回 主旨・進め方等の説明と植栽計画、会の名称について

7月6日(土) 第2回 サイン見て歩き(まちあるき)

9月30日(月) 第3回 サイン配置計画とサインデザインイメージ



・ワークショップの様子です



・グループ毎に発表しました



・グループ毎に発表しました

11月13日(水) 第4回 サインデザイン案、整備計画タタキ台、市民参加について



・今後の市民参加について提案しています



・まち歩きアプリ作成の報告です



・全体で意見交換も行いました

2月6日(木) 第5回 市民参加や整備計画(案)について

第3回(サインデザインイメージ)及び第4回(サインデザイン)のワークショップで出された主な意見・提案

第3回は主にサインデザインのイメージについて、第4回は主にサインデザインについて、その他にもみちづくりの市民参加に関する意見交換を行いました。第5回は、来年度以降の市民参加や整備計画(案)について議論する予定でいます。

サインイメージについての主な意見・提案

共通のデザインイメージについて

考え方

- ・見やすい、読みやすい、見つけやすい、が3原則!
- ・東海道の雰囲気や車の人やストリートビューでも分かるような特徴的なデザイン 等

サイン情報・盤面の表記

- ・今いる場所が分かるように地図を載せる。
- ・シンプルな内容で良い(2,3分で読める程度)。
- ・古地図、現在図も載せると歴史に思いをしのばせることができる。 等

歴史解説サイン

良いイメージ写真



- ・屋根付きで統一感出せると良い。
- ・重たくなく、あっさりさせたい。
- ・サインの前に格子を置くのも良い。 等

デザイン

- ・屋根・庇付きが良い。
- ・高さ、大きさ、形、材質を統一する。 等

注意事項

- ・歩行者に安全な(庇の幅が危ないように配慮した)サインとする。
- ・敷地にも置きやすい大きさと幅にする。 等

イメージキーワード

- ・保土ヶ谷宿らしい
- ・景観に馴染んでいる
- ・庇付き
- ・歴史を感じる
- ・外国人にわかりやすい

施設表示サイン

良いイメージ写真



- ・文字量や情報量によって使い分けても良いかも。
- ・歴史を感じる。
- ・特徴的で見つけやすい。 等

イメージキーワード

- ・歴史を感じる
- ・みつけやすい
- ・全体的にシンプルに

案内地図サイン

良いイメージ写真



- ・シンプルで風情がある。
- ・矢印があって分かりやすい。
- ・自分の今いる位置が分かる地図が重要。 等

イメージキーワード

- ・風情がある
- ・歴史を感じる
- ・シンプルな
- ・盤面もシンプルに

サインデザインイメージを踏まえて

サインデザインについての主な意見・提案

サインの考え方について

色彩・デザイン

- ・フレームをこげ茶に揃えると戸塚とも揃って良い。
- ・サインのイメージが統一されていると良い!
- ・場所によってはサインの形態を揃えなくても良いのではないかと。 等

維持・管理

- ・よごれにくくて、壊れにくいものが良い。
- ・掃除は沿道の人を中心になるだろう。
- ・屋根がないと雨垂れしてしまうのではないかと。 等

盤面の表記

- ・日本橋からの距離(Okm(〇里))を示す。
- ・最近増えている外国人観光客にも対応できるように、地名等を英語表記も記載する。
- ・旧東海道がわかるようにする。
- ・サイン下部に小さくても戸塚宿方面や神奈川宿方面の記載をすると便利だと思う。
- ・現況の案内サインの矢印がわかりにくい。
- ・矢印は現況の赤色ではなく、紅色や濃い赤紫が良い。



サインデザインについて

屋根・庇付き型

〈歴史解説〉 〈施設表示〉 〈案内・地図〉



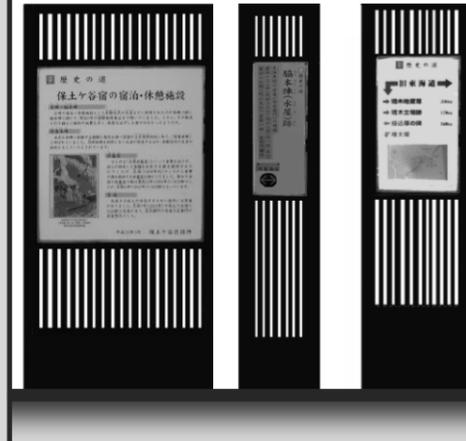
歴史を感じる

- ・屋根・庇付き型が良い。
- ・歴史解説板は特に屋根付きが良い。
- ・施設表示の地の色は白より茶色の方が良い。 等

格子型

〈施設表示〉

〈歴史解説〉 〈案内・地図〉



保土ヶ谷宿らしさ

- ・宿場の雰囲気を具現化している。
- ・宿場町らしい景観に寄与できる。 等

わかりやすさ、みつけやすさ

- ・歩道の反対側や車内からも目立ち、歩行者がわかりやすいデザインが良い。
- ・一つ見つけると他も見つけやすい。
- ・杭型だと見逃してしまう。 等

追加の提案

- ・格子+屋根のデザインも良い。
- ・頂部を折り曲げた形で庇を作っても良い。 等

課題

- ・格子の間にゴミを詰められそう。
- ・メンテナンスしやすい素材にする必要がある。
- ・雨風に弱くないか。
- ・イタズラされそう。 等

注意事項

※ワークショップでは、格子型が良いとの意見が多く出されました。